

## アルファ化研株式会社

愛知県日進市浅田町下小深田 6-4

TEL 052-804-4878 FAX 052-805-3878

# アルファコート金属溶射施工方法

## 鉄鋼構造物の長期防蝕ライニング工法

| 工程 |             | 使用塗料                                                               | 混合比率     | 希釈率<br>(重量%) | 標準使用量<br>(gr/m <sup>2</sup> ) | 標準膜厚<br>μm | 塗装間隔<br>(20℃) |
|----|-------------|--------------------------------------------------------------------|----------|--------------|-------------------------------|------------|---------------|
| 1  | 素地調整        | サンドブラスト処理による粗面形成がもっとも望ましい。<br>サンドブラストが出来ない場合には、粗面形成剤としてサブナールを使用する。 |          |              |                               |            | 4 時間以内        |
| 2  | 粗面形成処理※1    | サブナール<br>(専用粗面形成剤)                                                 | 100 : 25 | 無希釈          | 20～50                         | —          | 1 時間～7 日      |
| 3  | 金属溶射※1   ※2 | アルミニウム 55%   亜鉛 45%の容積比率                                           |          |              |                               |            | 直後～7 日        |
| 4  | 封孔処理   ※3   | アルファコート A-4 及び<br>A-5                                              | 100 : 25 | 50～100       | 400                           |            | 15 時間～3 日     |
| 5  | トップコート      | アルファコート A-4 及び<br>A-5                                              | 100 : 25 | 0～10         | 150                           | 50～70      |               |

※1 塗布量は 30 ~ 60gr/ m<sup>2</sup> 程度としてください。サブナール膜厚がありすぎると防蝕性能が低下する恐れがあります。

[http://ditec-inc.com/arc-techno/seihin\\_shoukai/sabnor/sabnor.htm](http://ditec-inc.com/arc-techno/seihin_shoukai/sabnor/sabnor.htm) を参照してみてください。

※2<常温アーク溶射で作成した擬似合金皮膜の組成はアルミニウム 55% 亜鉛 45%の容積比率で形成され、アルミニウムの長期耐久性と亜鉛のもつガルバニック・アクション(犠牲防食)と自己封孔作用により、使用環境により亜鉛メッキ鋼板の約 3~6 倍の耐久性が期待でき、特に塩害の厳しい地域での防食性能は SUS(ステンレス)より長期耐久性がとされています。

### 封孔処理※3

#### ①塗料の調整(重量比)

|            |        |
|------------|--------|
| アルファコート主剤  | 100    |
| アルファコート硬化剤 | 25     |
| ソルベント MX   | 70~125 |

#### ②塗布

スプレーガンにてたっぷり塗布してください。塗料が溶射面に浸透し、すぐ表面が乾燥せず、濡れ面になるまで塗布してください。このとき塗布量が不十分だと、上塗り時の発泡原因になります。

塗布量は溶射皮膜の厚さにより変化しますが、アルファコート分として㎡あたり 250gr(ソルベントを加えた全体として 400gr 程度)を目安として塗布してください。

塗布後の養生、乾燥をしっかりと行ってください。

### トップコート

封孔処理にアルファコートを使用すれば、中塗りを塗布する必要がなくなります。

希釈せずに使用できますが、必要に応じてソルベント MX で希釈してください。